

Weekly Report

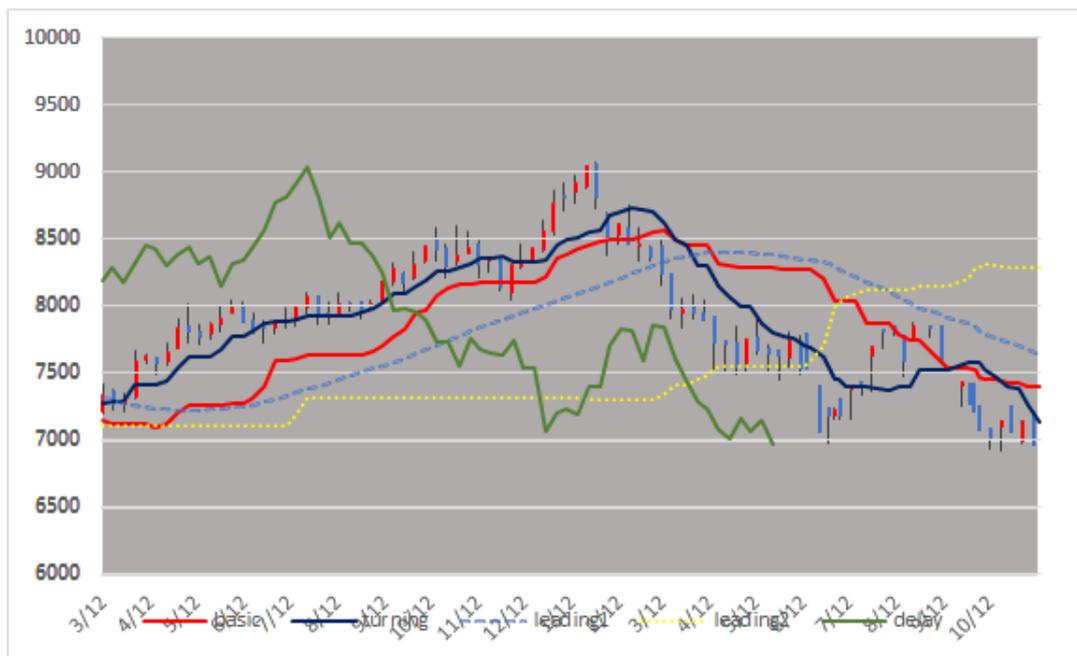
2018年11月12日号（通巻2号） 発行：株式会社フォーユー

編集・発行人 仁科剛平 鈴木信宏

一刀両断！

中勢二段下げに拍車がかかる？反転か？今はまさに分水嶺

PSEiのICHIMOKU分析



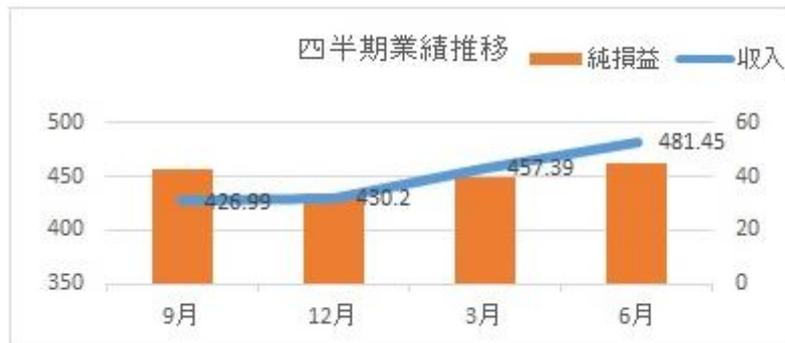
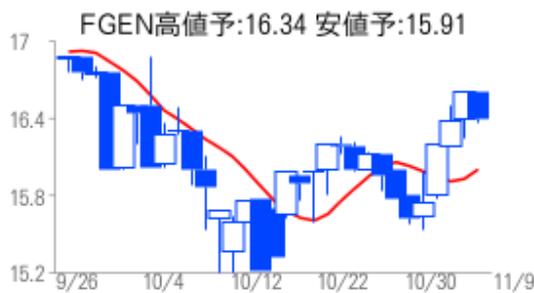
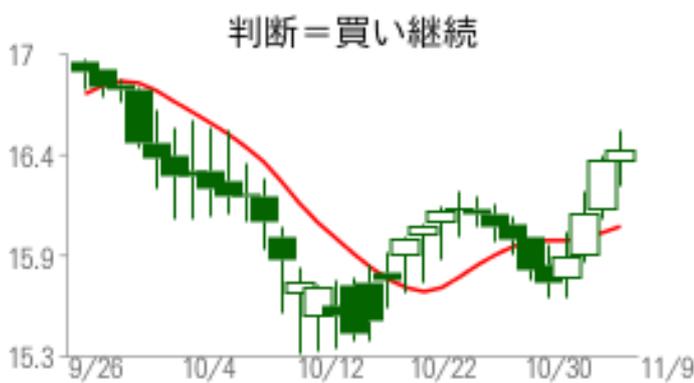
週足の ICHIMOKU を見る（左画像参照）と、先週は転換線（青ライン）の上抜けに失敗した動きとなっている。主要市場の反落や金利の再上昇などが原因だが、この結果、今週は微妙な立場に陥っている。年初の最高値から 7 月安値までの下げを第一波動とすると、今回は第二波動の下げ相場に進む可能性が出てきたからだ。テクニカル的に万一、二段下げとなれば、6000P 前後への下げも考えなければならなくなる。ただ、企業業績が好調を維持していることや 7000P での下支えラインから、下抜けの可能性は低いと思われ、ここは市場環境の好転待ちというスタンスで臨むことが、もっとも的確ではないかと思われる。

今週は相場の方向性を見るために、とりあえず様子見から入りたい。しかし 7124P まで

複製禁止。本資料は株式会社フォーユー（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断でお願い致します。

下げてきた ICHIMOKU 転換線を抜いてくれば、底値買いのチャンスになる。

【今週の注目銘柄】 FirstGen (シンボル=FGN)



★注目ポイント

FirstGen は Lopez グループでエネルギー事業を総括する会社。今年度は増収増益基調が続いており、バリエーションが大幅に向上。割安感が強まっている。

★総合力判定

上記「投資力レーダー」は銘柄の総合力を瞬時に把握するために新規開発した指標だ。緑が PSEi 採用 30 銘柄の平均。これを見ると株価力以外は平均か平均を超える水準で、今後、

複製禁止。本資料は株式会社フォーユー（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断でお願い致します。

市場を上回るパフォーマンスが期待できる。

★投資戦略

総合指数の下げに反発するように上昇、直近高値を超えてきた。この力強い動きは本銘柄に対する期待の表れだろう。やや行き過ぎ感があるため追撃買いは控えたいが、押し目があれば強気で買いたい銘柄である。

一挙掲載 PSEi&採用 30 銘柄の今週のターゲット

シンボル	現在値(前週比)	高値予想	安値予想	シグナル
PSEi	3968.82(-0.95%)	7143	6997	▼
AEV	47(1.08%)	47.63	45.25	▼
AP	32.5(-0.61%)	33.82	31.77	▼
AGI	11.12(-2.8%)	11.65	11.09	▼
AC	902(-0.06%)	935.5	910.1	▼
ALI	38(-1.3%)	39.17	37.82	▼
BPI	80(-3.38%)	83.15	79.44	▼
BDO	118(-0.84%)	124.9	118.2	◎
DMC	12.5(-1.11%)	13.14	12.52	◎
PGOLD	43(0%)	43.31	41.17	▼
RRHI	76.8(-0.13%)	76.78	75.64	▼
FGEN	16.4(-1.2%)	16.77	16.31	▼
GLO	1728(-5.21%)	1871	1639	▼
GTCAP	728(2.1%)	768.2	708.9	▼
ICT	92.15(-0.11%)	93.59	89.63	▼
JGS	46.45(-3.83%)	49.52	46.82	▼
JFC	278(-0.71%)	287.7	277.2	◎
LTG	15.1(-0.4%)	15.97	15.14	▼
MER	380.8(0.95%)	386	363.5	◎
MEG	4.5(0.22%)	4.524	4.406	△
MPI	4.75(0.64%)	4.793	4.559	▼
MBT	65.05(-0.76%)	66.49	64.34	▼
PCOR	8.12(-0.73%)	8.065	7.983	▼
TEL	1220(-4.98%)	1335	1184	▼
RLC	20.35(-4.68%)	21.55	20.45	△
SMC	171.5(0.88%)	175.9	162.4	▼
SECB	145(1.4%)	147.3	140.5	▼
SCC	25.5(-1.92%)	29.14	26.48	◎
SM	888(0.45%)	928.3	871.5	▼
SMPH	32.7(-0.15%)	33.37	32.37	▼
URC	125(-4.14%)	133.7	125.6	▼

下降相場にあるとみられる状況を示している。

【表の見方】

- ・予想は相場の傾きから次の足の推定値を算出する Forecast というテクニカルによる。変動幅は低めに設定してあるため、予想値にヒットする確率が高い。
- ・シグナルは期間 10 本と 20 本の単純移動平均の位置から求めた方向。◎は短期線（10 本）が中期線（20 本）を下から上に突き抜け陽転したことを表す。●は短期線が中期線を上から下に割り込んだ状態で、相場が陰転したといわれる状況。△は短期線が中期線より上に位置し、一般に上昇相場にあるといわれる状態。▼は短期線が中期線より下に位置し、

複製禁止。本資料は株式会社フォーユー（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断でお願い致します。

【銘柄の選び方】「P株高配当バリュー投資」

これから本番リリースまでに、数回にわけてフィリピン株.comをつかってどのように銘柄を選ぶか案内していきます。

フィリピン株については、銘柄数がすくなく浮動株比率も日本と比較して低い。その結果、流動性が低い銘柄がある。これを前提に考えるとデイトレードは向いていない銘柄がある。この背景を理解したうえで銘柄選びの選択方法としてお勧めしたいのが「P株高配当バリュー投資」だ。こんな投資手法はこれまでなかったのだがフィリピン株.comオリジナルの投資スタイルだ。

我々は金融情報ベンダーである。と同時にシステムトレードを提供するFintech企業でもある。

弊社が提供するニュースや価格情報とPSE（フィリピン証券取引所）上場全銘柄の会社情報とファンダメンタルズ分析とテクニカル分析。そして独自格付けによるスクリーニングシステムなど使い切れないほどの機能を持っている。

当初に初心者にお勧めしたいのが「P株高配当バリュー投資」だ。

■対象：初心者で忙しい人。

買ってから、しばらく放置プレイでインカムと同時に値上がり益を狙いたい人向け。

■前提条件

①フィリピン株.comの「利回りランキング」で7%以上の配当を出している企業を見つける。平均配当利回りが日本株の2倍以上あるので十分探せる。

黄金の勝ちパターンは 配当7%以上+キャピタルゲイン 15%以上+ペソ高10%を目指す！

②選択した企業が無理して増配していないか？確認するために過去3年の業績推移をP株会社情報データの「業績推移」で確認する。（業績が悪いのに高配当を続けると、いきなり無配を発表する会社もある）

③権利確定日を確認する。

会社情報に「配当の権利確定日」を調べる。人気の高配当銘柄では確定日の前後は動く可能性がある。確定後に売りがでることがあるので買うタイミングは注意が必要。

④バリエーション評価で割安な銘柄を探す。

「仮称：妥当株価検索ロボット」を使用して選んだ銘柄が「現時点」でいくら複製禁止。本資料は株式会社フォーユー（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断でお願い致します。

の値段が「妥当」なのか調べる。割安であれば基本的に買ってよい。

⑤最後に売買タイミングを探す

GC シグナルやテクニカル判断アルゴリズムを 30 種類用意している。どれも会員は無料で利用できるのもので、好きなテクニカルツールで「割安な価格帯」で売買シグナルがでているものを探して購入する。

以上

この一連の流れをフィリピン株.com 独自のツールやデータを使えば簡単にできる。さながらプロ同然に合理的なポートフォリオを構築できるのだ。また、上記にくわえてご自身の独自のロジックを組み合わせると、さらに銘柄選びが楽しくなるでしょう。

しかも、きっとあなたのポートフォリオは一年後には大きな果実が実るでしょうから。儲かってこそ本当に楽しめるのです。

【フィリピン株の学校】

12 月初旬に募集を開始する予定です。フィリピン株.com の入会者はお得な価格で設定します。フィリピン株オリジナルの教本と動画セミナー＋リアルセミナーを予定しております。

入学費用：98000 円→ フィリピン株.com 年会員入会者のみ 49800 円

※近々、申込用の専用ページをご案内します。

■講師

仁科剛平 フィリピン株.com 編集長

金融プログラマー（株で 1 億稼ぐシリーズの 30 万部超えベストセラー作家）

Suzzy フィリピン株.com 編集部員

証券会社とデリバティブ月刊誌の編集長、米国系シンクタンクをへてその他

セミナー講師

BigMT 東証一部上場企業の執行役員をへてフィリピン株.com の役員就任

【進捗状況】

複製禁止。本資料は株式会社フォーユー（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断でお願い致します。



11月 ベータ版公開。適宜更新予定。

12月中旬 会員サイト公開。事前に会員IDを配布。

下旬 LINE登録開始。LINEでも情報を配信開始。

1月24日から26日 資産運用EXPO（東京ビッグサイト）にてハロハロホームと出展

2月 妥当株価ロボットなど追加コンテンツを拡充

複製禁止。本資料は株式会社フォーユー（以下「当社」といいます。）が情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の推奨を行うものではありません。また、提供する情報は当社が信頼に値すると判断したものを採用しておりますが、その正確性を保証するものではありません。また、これらを基にしたお取引及びその結果について当社は一切の責任を負いません。本データは将来の利益や結果を約束するものではありません。売買の最終判断はご自身の判断でお願い致します。